

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

南北インドの違いとは？ & 「クンナム」情報

JSC 貿易部ニュース

四月に入り桜が咲きはじめています。例年よりかなり遅い開花となっておりますが、ようやく春本番といった今日この頃。

いつも当メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。

私とは言いますと、二月に初めて北インドに出張に行っていました。



到着早々、南インドと北インドの違いを感じます。

まず、もともと北インドと南インドでは人種が異なります。

北インドに多いのはイスラム圏からやってきたアーリヤ人種（背がスラっと高めで肌の色は比較的薄目もしくは褐色。髪も比較的ストレート）。

南インドに多いのはインダス文明を築いたとされるトラヴィダ人種（南インドに行ったことがある石屋さんならご存知の通り、肌が黒くて髪は天然パーマの人が多いです）。

パッと見の外見の違いだけではなく、基本的な性格も結構違います。

（当然ながら人によって違いはありますが）

北の人は結構ストレートにものを言います。なので、キツめに感じることもあります。

また人との距離感は日本人だと「普通」と感じる程度、ややドライな感じ。

南の人は非常に遠回しなものを言います。また、決して「ノー」とは言いません。

できないことも一旦全部「イエス」と言います。このあたりが石材仕入をやっていく上で非常に厄介ではあるのですが・・・。また人との距離感が極めて近い。知らない人でもくっつきます。列に並んでいたりすると後ろのおじさんの吐息をうなじに感じるほど・・・

ただその距離感ゆえか、異常に親切です。知らないことでも周りを巻き込んで解決してくれようとしています。

総じて言えば、北は都会の人、南はすごい田舎のおっちゃん、おばちゃんといった感じが想像しやすいかもしれません。

冒頭から脱線してしまいましたが、話を戻します。

北インドでは主に大理石や砂岩など建築石材で使用される石が産出されています。しかし、花崗岩も少し産出されていて、今回はとあるきっかけで北インドの会社さんと知り合うことになり、細かい彫刻品の一大産地として有名な「アグラ」産の小物も取り扱えるよ～。ピンクシティの異名高いジャイプール産の特産品もいっぱいだよ～、ということでタージマハルがある都市としても有名な「アグラ」行ってみることにしました。



アグラ産の小物とは？

象の胴体をくり抜いて中にも小象が！

精巧な技術力を見せつけてくれます。

これ以外にもいろいろと見モノがありました。

詳しくは、高松ショールーム及びウェブストアでご覧いただけます。

ご興味のある方は以下よりご覧ください。

https://ohakakiwame.stores.jp/?category_id=65c58f4fbd9ebe065bcf73f8



・ジャイプール特産品ブルーポタリーとは？

トルコ・ペルシア発祥の焼き物ですが、アーリヤ人のインド到来とともにインドで特産品として花開きました。青や黄色華やかな色遣いが魅力的です。こちらも仕入れてきました。

6月庵治のストーンフェアの際に高松展示場のほうでお披露目予定です。

お立ち寄りの際にご覧いただければ幸いです。

今月の石のお話は「クンナム」情報です！



ほぼすべての「クンナム丁場」が政府の環境規制で停止していましたが、弊社関係先の二社。ようやく操業にこぎつけました。ここまで長い、長い道のりでした。

前の政権がやったことを覆したい現州政府担当との終わらない協議。関係各所への付届け。環境保全の為、丁場周辺への大規模な植林。安全配慮義務からの丁場周辺を覆うフェンスの設置。近隣住民への配慮として寄付金。

全てをクリアしてようやく再開です。製品も当社提携インド工場にて随時生産可能です。

また、原石も日本に輸入する計画です。最初の方に産出される小さい石の処理があるので輸出サイズが出るのには多少の時間が掛かりそうですが、販売再開に向け準備しています。日本だけでなく、中国の提携工場にも提供していきますので、原石・製品ともお引き合いがございましたら、是非、営業担当にお声掛け下さい。

本物の「クンナム」製品をお求めの石材店様、是非、日本石材センターにお問い合わせのほどよろしくお願いたします。

では今月号も最後までご覧いただきありがとうございます。

どんどん花粉・黄砂も飛来しております。どうぞお体にお気をつけくださいませ。